報道資料

令和６年（2024 年）１月３０日

熊本市市民公益活動支援基金
令和６年度助成事業　プレゼンテーションの開催について

　令和６年度熊本市市民公益活動支援基金のステップアップ助成事業に対する審査を、プレゼンテーション形式で実施しますので下記のとおりお知らせします。

１　日　時　　令和６年（2024 年）２月７日（水）　１０：３０～１５：００

２　場　所　　熊本市総合保健福祉センター・ウェルパルくまもと１階
　　　　　　　市民活動支援センター・あいぽーとイベントコーナー

３　内　容（予定）

10：30～10：40　開会
10：40～15：00　ステップアップ助成事業に伴うプレゼンテーション
　　午前の部　５団体　10:40 開始
　　午後の部　５団体　13:40 開始　（発表団体数１０団体）
15：00　閉会

４　助成申請事業（プレゼンテーション分）　別紙のとおり

５　その他
　閉会後に実施する審査会(令和５年度第４回熊本市市民公益活動支援基金運営委員会)については、非公開で行います。

※ ステップアップ助成とは、NPO 法人やボランティア団体が行う市民公益活動に対して、その事業費の一部（最大 25 万円、対象経費の 2/3 を上限）を助成する制度です。

＜問い合わせ先＞
地域活動推進課（096-328-2036）
課長　甲斐（かい）担当：吉村（よしむら）

令和６年度　熊本市市民公益活動支援基金　　助成申請団体一覧

【ステップアップ助成】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　助成金予定額　150万円

№.	団体名	事業名	事業概要	申請金額（円）
UP-1	くまもと邦楽会館	子ども邦楽体験ワークショップ	くまもと邦楽会館は、熊本市内で和楽器体験ができる場所です。 一年間を通して『子ども邦楽体験教室』で箏の基礎とアンサンブルを学ぶプログラムと、一年に一度、夏期に開催する『伝統芸能ワークショップ』では箏をはじめ尺八、三味線、太鼓、鳴物、日本舞踊など、普段なかなか触れることのできない和楽器をたのしい雰囲気の中で体験できます。	250,000
UP-2	むすんでひらいて音楽事務所	左手のピアノの世界	2回の二人でコンサートの実施と動画作成を行う予定です。二人でコンサートは、左手ピアノと社会問題を訴えている演奏家との共同で実施します。撮影は、日本で作曲された初めての西洋音楽の歌曲として日本音楽史上重要視されている「荒城の月」と左手でのピアノ演奏とを広く知って頂き、これらを未来に伝えるための活動です。左手でのピアノ演奏は、障がい音楽家が社会で生き生きと表現活動する象徴とも言えるでしょう。	250,000
UP-3	NPO法人ガット	子どものための体験活動サポートと学校図書館相談事業	子どもの体験活動は四つである。第一は、野菜や果物、花を育てる体験から、自然と向き合う楽しさを味わい、収穫して食べる喜びを実感することができるようにすること。第二は物づくり体験で、道具の使い方を知ったり、自分で考えたものを作り上げる満足感を味わったりすることができるようにすること。第三は、読書活動を通して未知の世界を想像しながら、自分自身を見つめたり、悲しみや苦難を乗り越えたりする力を育めるようにすること。第四は、楽器演奏、調理実習、体つくり運動等の興味ある活動で、自らをたかめていくことである。 　子どもの読書活動を支える学校図書館相談では、熊本市の小中学校の学校図書館の活性化のために、図書館のリニューアルを行ったり読書活動に関する支援を行ったりして、そこで学ぶ子ども達を支える図書館づくりをする。	172,000
UP-4	NPO法人坪井川遊水地の会	坪井川遊水地美化および桜並木・防災講演	坪井川遊水地の本来の目的は熊本市の中心市街地を水害から守る目的で40年前に建設された。その後坪井川が大きな災害に見舞われないのはその効果のためでもある。その遊水地の利用を拡大し、今後もこの素晴らしい都市空間を持続する為に、遊水地を除草美化し、周辺の4小学校児童に桜並木や防災の講演を実施する。	210,000
UP-5	特定非営利活動法人 教育支援プロジェクト・マスターズ熊本	地域コーディネーター・ファシリテーター養成事業	受講者が受け身にならず、全員が安心して発言・活動し、グループで智恵と力を出し合いながら一人ひとりが意識変容に至るようなグループワークを実施していく。理論と実践の両面から考察した上でのプログラムテキストを作製して配布し、システム化することで短期間で、家庭教育・地域コーディネーター・ファシリテーターの養成を行う。また、指導ではなく、参加者と同じ目線のスタンスで市民活動を支援する人材の育成を行っていく。	230,000

令和６年度　熊本市市民公益活動支援基金　　助成申請団体一覧

【ステップアップ助成】

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額（円）
UP-6	暮らし応援協力隊	暮らし応援協力隊	地域の担い手不足や高齢世帯（独居含む）の地域での孤立など、社会情勢の変化に伴い、地域を取り巻く課題は益々多様化しています。そこで、暮らし応援協力隊としての活動を通して地域が抱える課題を少しでも減らすお手伝いをする。また、町内高齢の独居者やご夫婦との会話＆傾聴等を行いながら情報を知り、お困りの事柄の解決を出来る事から実施する。	172,000
UP-7	NPO法人 傾聴ネットキーステーション	心に寄り添う傾聴ボランティア養成とスキルアップ講座	人と人とのつながりや信頼を得るコミュニケーションの技術として「傾聴」の基本を学ぶボランティア養成講座を８回実施する。講座は座学、話し手と聴き手と観察者という役割を全員が担うロールプレイを中心に傾聴をする際の姿勢を身に着けていく。回を追うごとに真に自分自身を受容することが他人を受容することに気づきを得、話の聴き方次第で人間関係が円滑になり「傾聴」が、自身の人間的成長の学びとなることを理解できるようになる。また実際に外部の話を傾聴する実践と外部の専門家を迎えスキルアップ公開講座を年４回実施し、更に傾聴の深さと技術を学び傾聴力向上につなげる。	216,000
UP-8	一般社団法人 Arts and Sports for Everyone	ボッチャ体験会	小学校をはじめとする教育機関や公共施設などからの要請に応じて、ボッチャの体験会を行なっている。特に、熊本市が採択している小学校３年生の東京書籍の国語の教科書に「パラリンピックが目指すもの」でボッチャについて学んだ生徒たちが実際にボッチャを体験したいという要請が多くある。ボッチャは重度障がいのある人たちが楽しめるように開発されたものであり、誰もが楽しめるスポーツである。それをとにかく楽しんでもらうことが共生社会の実現の第一歩であると信じて活動している。	73,000
UP-9	『生きづらさカフェ』 ～ただの居場所～	『生きづらさカフェ』 ～ただの居場所～	月１回の「生きづらさ」をテーマとした当事者会「生きづらさカフェ」を開催する。また大江コミュニティセンターを拠点とした様々な理由で望まない孤独孤立状況にある人達の日中の居場所づくりとして「ただの居場所」。土曜日の夜は地域の皆で、一緒にご飯を食べて過ごす「週末の夜の大人食堂」の事業を通じて孤独孤立を防ぐ地域の繋がりを作る。令和5年度に当事者会をやってみて気軽に話したい人と、少人数であまりオープンに話したくない人がいた。なのでオープンの「ただの居場所」とクローズの「生きづらさカフェ」に分けて開催していきたい。	126,000
UP-10	特定非営利活動法人 くまもとライフボート	江津湖地域の在来種保護 （外来魚捕獲活動）事業	江津湖地域に繁殖している外来魚を捕獲する為に、当法人の会員、地域の住民、子供たち、協力団体、一般参加者を募集して、胴長を履いて河川に入り上下流に仕切りをしてしてサデ網、たも網、などを用いて捕獲する。捕獲した魚は在来魚、外来魚に仕分けして在来魚はリリース、外来魚は金村商店を通して佐世保の魚粉工場に運び、魚粉にして肥料や家畜の飼料にリサイクルしている。	200,000